

## インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法  院内掲示  井上病院のホームページで公開する

研究課題名	院内の転倒転落を減らすための医療の質改善プロジェクト (承認番号 285 )			
研究の意義・目的	<p>医療機関における身体的拘束を最小化する取り組みを強化するため、令和 6 年度の診療報酬改定で身体的拘束最小化の基準が定められた。当院でも身体的拘束最小化チームが設置され、現状を調査した。その結果、身体的拘束の約 7割が院内の転倒転落予防のために行われていることがわかった。そのため、転倒転落に対する取り組みを多職種チームで取り組むこととした。</p> <p>院内転倒は 30~50%で何らかの外傷を引き起こし<sup>(1)</sup>、1~3%は骨折に至り<sup>(1)</sup>、入院期間延長、医療費増大につながるということが報告されている<sup>(2)</sup>。外傷を伴わない転倒でさえも、患者や医療従事者にとって苦痛をもたらし、転倒への恐怖が移動能力の低下へつながることが報告されている<sup>(3)</sup>。過去のシステマティックレビューでは院内転倒に対して、多職種による多因子評価と介入が院内転倒を 20~30%減少させる可能性があることが報告されている<sup>(4)</sup>。</p> <p>しかしながら、院内の医療の質改善プロジェクトが院内転倒転落に及ぼす影響は十分に報告されていない。そこで、我々は院内の転倒転落を減らすための医療の質改善プロジェクトを行うこととした。</p>			
研究期間	2023 年 4 月～ 2026 年 3 月			
研究対象者の範囲	2023 年 4 月から 2026 年 3 月に井上病院に入院した患者さまが対象です。			
利用又は提供する試料・情報の項目	患者さんの診療情報(電子カルテ)から基本情報：年齢、性別、診断名、合併症、薬剤使用状況、透析の有無、入院時の転倒転落アセスメントシート内の情報、転倒に関する情報(外傷の有無など)を収集します。			
研究成果を公表する方法	学術集会での発表や論文作成			
試料・情報の提供方法	特記すべきことなし			
研究組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 試料・情報を利用する者の範囲としての研究機関名とその代表者氏名</li> <li>● 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</li> </ul>			
	【研究代表施設】施設名：愛仁会井上病院			
	研究代表者	所属：診療部総合内科	職名：部長	氏名：濱田治
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。			
拒否を受け付ける方法 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応	<p>連絡先：社会医療法人愛仁会井上病院 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 16-17 電話番号：06-6385-8651 担当者：診療部 総合内科 部長 濱田 治</p>			